

令和4年3月24日

放課後等デイサービスピースセカンド自己評価結果等の公表（R4.3 実施）

自己評価結果の検討会議の記録

日時：令和3年3月24日（木）14:30-15:00

場所：放課後等デイサービス ピースセカンド

参加者：仲西、桑原、宮崎、元岡、古田、梶栗、井本さ

○事業所全体による自己評価の討議と改善目標設定をした。結果は以下のとおりである。

① 保護者等による評価と改善目標の設定から

「はい」の回答がほとんどで「いいえ」の回答は少なく、概ね満足の行く利用につながっている。以下、「どちらともいえない」の回答を主に検討会議にて現状共有と改善目標を立てた。

- ・ 3 項目目の「バリアフリー化」については、施設の構造上限界があるが、現状の利用者に関しては使用に問題がないことを確認している。コロナ禍のため増築をすることで、一人あたりのスペースを確保するように修繕をしている。
- ・ 4 項目目の意見の中で計画の頻度であるが、現在は半年に1回モニタリング、計画の更新を基本とし、利用者の状況や変化などの必要に応じ頻度は見直している。
- ・ 6 項目目の「放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか」だが、農業体験や自然体験の企画、料理教室を行う中で関わる場を設けている。子どもたちのニーズや希望を聞きながら、様々な活動を行っていく。
- ・ 8 項目目の意見の中で、支援のポイントについてであるが、各利用者の状況に応じ、個別支援計画書に沿った支援を行っている。更新時のモニタリングや面談などで確認をしている。
- ・ 10 項目目の保護者支援なども毎月開催をしている。いろいろな人が参加されているが、参加されていない方もいるので、別の機会などを設けながらコミュニケーションを図っていく。
- ・ 15 項目目のマニュアルについては、周知が足りていないところが見られるので改善を行うことを確認した。
- ・ 16 項目目の避難訓練については、年2回実施をしているが、実施したことを保護者へお伝えできていない状況が確認されたので、改善する。
- ・ 職員からは、開所し1年経ち子どもたちの安定的な利用が見込めるようになった。子どもたちの安心できる場所や成長を伴走することにやりがいを感じているという意見があった。

- ・保護者との情報共有を密に図りたいという意見があり、お迎え時の報告や相談、必要に応じ面談などを積極的に行い、信頼関係、安心感を構築する。
- ・情報発信などを充実させていきたいという意見が出た。これまでの事業所掲示やお便り配布をすることも大切に、さらにホームページの充実など広報を充実させていく。今後も利用者やご家族が安心できる支援を継続していく。

② 職員による自己評価と改善目標の設定から

- ・3 項目目のバリアフリー化については、現在利用者に関しては不自由なく利用ができていると考える。今年度は増築を検討し、コロナ禍の中でスペースを確保しつつ、支援ができる環境をつくることを確認している。
- ・12 項目目の「プログラムが固定化されないように」については、利用者の個々のニーズに応じてコミュニケーションや特性による学習の難しさに対して支援を行っていることを確認した。
- ・22 項目目の「医療的ケア児」については、当事業所では受け入れ体制が整っておらず、現段階では受け入れる予定はないことを確認した。
- ・26 項目目の「放課後児童クラブや児童館との交流」については、当法人として広く呼びかけ開催を行っている農業体験自然体験のいのちかがやくプロジェクトなどで共に活動できるように工夫している。
- ・42 項目目の「食物アレルギー」については、面談の際のアセスメントでも項目を設け確認をしている。現状は食事提供はなし。
- ・29 項目目の「ペアレント・トレーニング」については、専門的な講座などは行えていないが、適宜面談や保護者相談に乗りながら利用者家族の支援を行っていることを確認している。
- ・32 項目目の「父母の会」については、ハッピーカフェ（座談会）を開催することで、保護者同士のつながりが多少作れているが、全体的に保護者同士の連携が作れているわけではないことを確認した。
- ・開所して一年たち、利用者のご家族と密にコミュニケーション取れるように運営してきた。定期的な面談や月 1 回行っている座談会などにもお声掛けをして家族視点での支援をしていきたい。

今回のアンケート結果で判明した①、②の改善点を職員間で確認共有、検討して、さらなる子どもたちの利益の保証、サービスの提供を実施していくことで確認した。

以上

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表 (R4.3実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	0	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	7	1	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	1	0	・計画書はどのくらいの頻度で作成されるのですか
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	0	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	9	0	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	2	0	・どこを支援のポイントとしているのかを聞く機会を頂けると嬉しいです。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	2	0	・丁寧な面談をして頂いています。ありがとうございます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	3	0	・平日の昼間が多いので休日にあると嬉しいです
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	0	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	1	0	
	14	個人情報に十分注意しているか	24	1	0	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	6	2	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	9	3	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1	0	
	18	事業所の支援に満足しているか	23	2	0	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表(R4.3.24実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切に運営している。今後も継続し取り組む。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に運営している。今後も継続し取り組む。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		構造上バリアフリーには限界はあるが、運用上は問題なし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の職員会議や日々のミーティングなどで改善できるように課題を共有、解決している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本アンケートや年間通した希望調査を行う中で改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所に掲示、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会議を実施して業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月1回程度研修を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングや面談を実施し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議や日々のミーティングで確認、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		会議で確認し、各利用者のニーズに沿って行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		会議で確認し、各利用者のニーズに沿って行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		会議で確認し、各利用者のニーズに沿って行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々会議を行い、前回の利用状況、今回の内容について確認し、実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々終礼を行い、当日の利用状況、内容について確認し、次回支援に反映し、実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援に対して記録している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			利用者の状況に合わせて、柔軟に対応している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			毎回担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			担当者会議や必要に応じて行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修をお願いしたことがある。状況共有など必要に応じて行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			法人のイベントなどで行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の送迎時、面談の際に行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	専門的にペアレント・トレーニングの実施ができていないが、個別での面談や相談を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時等に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適宜面談など実施、相談しやすい環境を心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会まではないが、座談会など開催をしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ケースは多くないが、要望等あれば真摯に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月おたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			内部研修を行い実施している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳の他、LINEなど保護者が利しやすいツールを活用し実施している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍のために積極的には実施はできていないが、関わりを持ち事業運営をしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者とは契約時に確認している。職員とは会議などで共有している。周知が行き届いていないところは、広報など行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を実施している。周知が行き届いていないところは、広報など行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			記載し、利用契約時に確認、了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事提供なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		作成し運営をしている。